作業手順書	使 用 機 械	移動式クレーン、チェーンソー		地山の掘削作業主任者 移動式クレーン運転士(5 t 以上)	山田 太郎
作業名横矢板入れ作業	器具・工具類	ハンマー、ツルハシ、ケンスコ、丸のこ、、ドラム、ケレン棒	必要な資格等	玉掛技能講習 車両系建設機械(3 t 以上)技能講習	
会 社 名 有限会社 工業	保 護 具	保護帽、安全帯、安全長靴、手袋		チェーンソー特別教育	
職長	そ の 他	木矢板、キャンバ、桟木、釘			
作業人員 3名		立入禁止用バリケード			

 作業工程 	作業の手順	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性	見積り	優先度	リスク低減措置	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備	考
1)準備作業	1.作業場所の状況を再確認する ・地山の掘削作業主任者が事前に確認する		3	2	5	2			3	1	4	1		
	・手すり等の墜落防止設備、昇降設備、作業通路 等も再確認しておく	・乾燥して土が落下する					・山留め壁面や支持杭のH形鋼の間に付着した土 が残っていないか点検する	職長						
	2. 朝礼に出席する						・全員出席し、注意事項をよく聞く	全 員						
	· # . 3	VVVVV	= 1	<u></u>		7	KOUYA.CO	/ II II I						
				1	I .		するよう指示する	職長						
	4.有資格者等を確認する													
	4.有資格者等を確認する ・地山の掘削作業主任者 ・玉掛け技能講習修了者						するよう指示する 資格証の携帯・現場の見やすい場所に名前が掲示されているか	職 長 作業主任者 玉掛者	Ť					
	・地山の掘削作業主任者						・資格証の携帯	作業主任者 玉掛者 作業主任者	i					

作業工程	作業の手順	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性	見積り	優先度	リスク低減措置	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備	考
	7. 持込機械届受理証を機械に取付ける		3	2	5	2	・取扱責任者を明示する	職長	3	1	4	1		
	8.作業場所の点検	・乾燥した土が落下する					・山留壁面や支持杭のH鋼の間に付着した土を落と す	作業者						
	9. 保護具を点検する		3	2	5	2	・保護帽のあご紐、ハンモックの点検をする	作業者	3	2	5	2		
	10.機械、工具を点検する ・作業開始前点検をする		3	2	5	2	・アースを点検する ・所定の用紙を使って点検し、記録する	作業者	3	2	5	2		
	11.仮設設備の再確認をする ・立入禁止区域を全作業員が熟知しているか		3	2	5	2	・掘削深さが 1.5mを超えた場合には、はしご等の昇降設備を設ける	作業主任者	3	1	4	1		
	を確認する						・矢板入れ作業は高さが 2m を超えない範囲で行う	作業主任者						
	・作業通路および昇降設備の確認をする						・搬入仮置場所を決定する	職長						
							・切断場所を決定する	作業主任者						
							・夜間作業になるときは十分な照明を設置する	職長			5	2		
2)本作業		/www	/_	S	6	3	kouya.cc	m		2	3	1		
	2.						・作業台を設置する ・安定した姿勢で注意して作業する	作業者		2	8	3		
	3.矢板を必要量配置する	・つまずきによる転倒	3	2	5	2	・好たした安勢で注意してIF乗する ・作業場所をを片付ける ・投げ降しはしない	作業者	3	1	4	1		
	4.裏の土を矢板が入る程度に取除く		1	2	3	1	・余分に取らない	作業者						
	5. 矢板を入れる ・機械掘と平行して行う場合には作業分担区域 を決め、機械の作業範囲内に作業員が立入ら ないようにする ・矢板入れ作業時、上段部より裏込めによる土	・土砂の流出、路面の陥没	6	4	10	4	・矢板は根切底から矢板1枚分掘り下げて入れる ・埋設管などがある場合は元請担当者に報告し指示 を待つ ・矢板の厚さが異なるときは、指示が遅れないよう 注意する	作業主任者	6	2	8	3		
	砂の崩れに注意し、場合によっては監視人を 配置する ・水の出るところは矢板と矢板との間隔をあけ ない	・機械との接触、はさまれ					・機械の誘導者あるいは監視人を配置する ・機械の作業半径から 2m 以上離れて作業する ・必要に応じて土のうを詰める ・鋤取った所は全て矢板を入れる	職 長 作業者 作業主任者 作業者						

作業工程	作業の手順	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性	見積り	優先度	リスク低減措置	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備	考
	6. 裏込めをする ・矢板の親杭への掛かり代を 5 cm以上とする	・土砂崩壊	3	2	5	2	・矢板をさし込んだら、1枚ごとに土(または砂まじり粘土)を入れて十分に締固める	作業者	3	2	5	2		
	7.押さえの桟木(ぬき)を取付ける	・土砂が崩れる	3	2	5	2	・矢板を深さ 1.5m程度まで建込んだら、矢板押さえ用の「ぬき」を矢板両端に釘止めする ・地山の状況に応じてパッキングを使用する	作業者	3	1	4	1		
	8. 矢板面をハンマーで叩き、空隙の有無をチェックする	・空洞があると危険	1	2	3	1	・裏込め土は十分押し込み、地山と矢板の間に隙間のないようにする ・矢板面から水が出るときは、土砂の流出防止の 処置をする ・矢板面を叩き、裏込めの状況をチェックする	作業者 作業主任者 作業主任者 作業主任者	1	2	3	1		
	9.	/					1				3	1		
3)片付け作業	nttps://	/WWW	/.		5(e	kouya.co	om	1		8	3		
	2.										5	2		
	3. 仮設施設を整理する	・転倒・腰痛	3	2	5	2	・立入禁止措置、作業通路、昇降設備等不用になったものを片付ける	作業者	3	2	5	2		
	4.作業責任者は作業員に作業終了を伝える	・道具を片付ける	1	2	3	1	・作業責任者は元請担当者に報告する	作業主任者	1	2	3	1		

